

岩村地区自主防災隊

岩村地区防災計画策定後の 自主防災隊の活動

～岩村の守るべき
「歴史・景観・地域コミュニティ」
を次世代へつなぐための取り組み～

発表者 岩村町自主防災隊 隊長 鈴木 孝司

平成 27 年 12 月 25 日

岩村地区防災計画（案）

～岩村の守るべき
「歴史・景観・地域コミュニティ」を
次世代へ繋ぐための取り組み～



▲次世代へ繋ぐ歴史・景観

第 1 章 基本方針

恵那市では、市の地域と市民の生命・財産を災害から守るとともに、市民一人一人の自覚と努力を促すことによって、被害を最小限に軽減するために必要な、防災に関する事項を総合的に計画した「恵那市地域防災計画」を策定しています。

この計画では、防災協働社会の形成推進を図ることとしており、「自助」「共助」「公助」の役割分担が明確化されており、地域で取り組むべき事項が明記されています。本計画ではより具体的な取り組むべき行動などを計画に位置付け、地域内の減災・防災を推進することを目的とします。

社会情勢の変化などで助け合いの心が希薄しており、高齢化社会において自分自身を守ることが難しくなっているため、『自助・共助』にどうやって取り組むのか、具現化する必要もあります。

第 2 章 地区の特性

□地形

当地区は、岐阜県の南東端部に位置しており、愛知県・長野県とも近く、平均標高は約 500mあり、夏は涼しいが冬は乾燥し、寒さが厳しい地域であります。また地区全体は山に囲まれた盆地で形成しており、面積の約 70%は山林で木曽川の支流である岩村川・飯羽間川・富田川が盆地内を北へと流れています。

岩村町は大きく分けて「岩村」、「飯羽間」、「富田」の 3 地区に分かれており、これは岩村町の歴史的な成り立ちにも由来しています。また当地区には、日本三大山城に選定されている「岩村城」や国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている「岩村本通り」、「農村景観日本一」の称号を持つ富田地区など歴史と自然豊かな地域であります。

岩村町の課題

○自力避難できない

↳安心カードの作成

- ・要救護者や家屋間取りを記載した公表できる「安心カード」の作成

○家具転倒防止が自力でできない

↳家具転倒防止の支援

- ・高齢者世帯や独居世帯で自分では対策できない方々への支援

○初期消火の対応ができない

↳伝建地区の消火器・火災報知器設置

- ・延焼の恐れの高い伝建地区への消火器・火災報知器の設置

家具転倒防止作業

家具転倒防止実績

31件

(平成28年～令和元年)



安心カードの作成・更新

安心カードとは？

有事の際に素早く効率的に安否確認・救護を行うことを目的として作成します。

安心カードは家族構成・健康状態・家の間取りに至るまで記入していただきます。



岩村町安心カード

登 録 日	令和 2 年 7 月 1 日		自 治 会 名	本町〇丁目	
住 所	恵那市岩村町545 番地 1 電話番号 43- 2111 携帯〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇				
		氏 名	生 年 月 日	年 齢	健 康 状 態 該当する所を、○で囲んでください
世帯主名	かな	いわむら たろう	昭和17年〇月〇日	78	健康 寝たきり 車椅子 足 手 腰 目 耳、の不自由な所
	続柄	岩 村 太 郎			
家族構成	かな	いわむら はなこ	昭和19年〇月〇日	76	健康 寝たきり 車椅子 足 手 腰 目 耳、の不自由な所
	妻	岩 村 花 子			
	かな	いわむら まなぶ	大正8年〇月〇日	101	健康 寝たきり 車椅子 足 手 腰 目 耳、の不自由な所
	父	岩 村 学			
	かな	いわむら うたこ	大正11年〇月〇日	98	健康 寝たきり 車椅子 足 手 腰 目 耳、の不自由な所
	母	岩 村 歌 子			
	かな				健康 寝たきり 車椅子 足 手 腰 目 耳、の不自由な所
	かな				健康 寝たきり 車椅子 足 手 腰 目 耳、の不自由な所
かな				健康 寝たきり 車椅子	

この家庭は4人家族で緊急連絡先もわかります。

					足 手 腰 目 耳、の不自由な所
世帯形態	高齢者世帯	昼間高齢者世帯	夜間高齢者世帯	独居	昼間独居
	夜間独居	その他()※該当する所を、○で囲んでください			

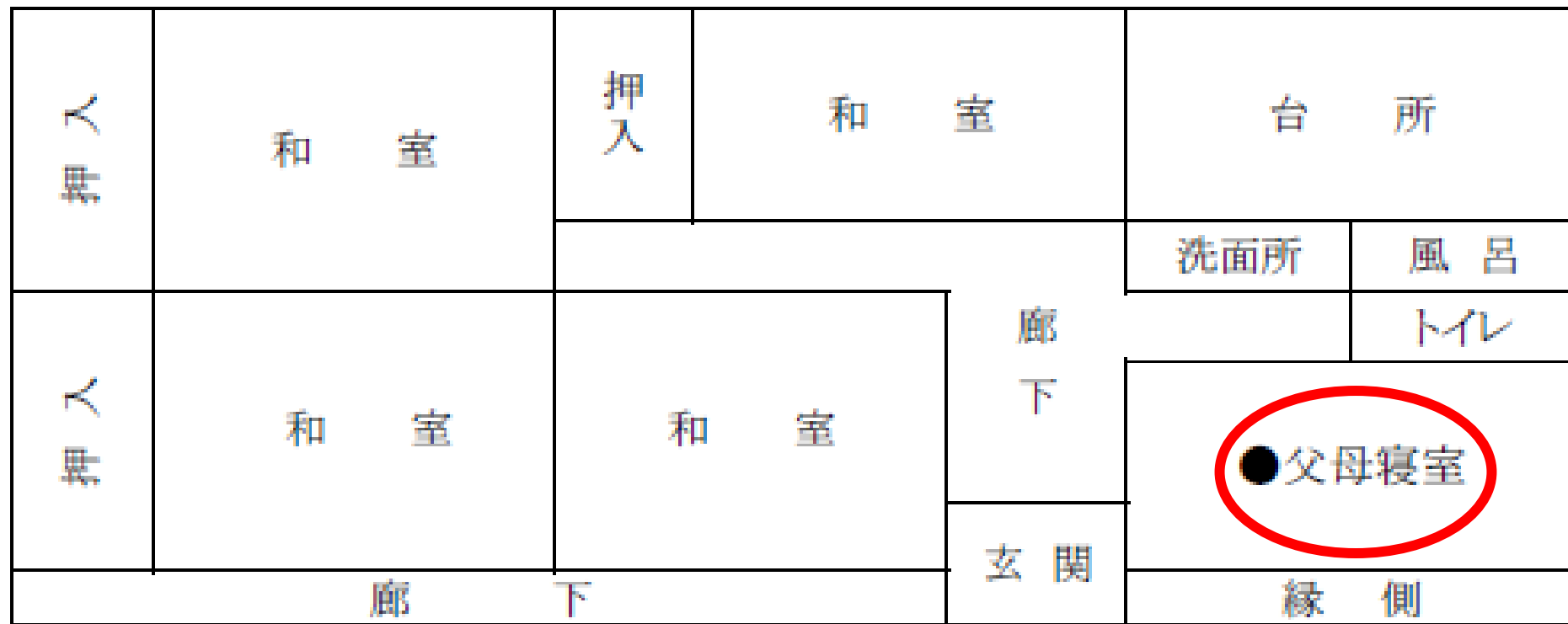
緊急連絡先

続 柄	氏 名	住 所	電 話 番 号
子(長男)	岩 村 次 郎	名古屋市中区三の丸三丁目2番地1号	(自宅)052-961-1234 (携帯)090-1111-2222

岩村町安心カード

登 録 日	令和 2 年 7 月 1 日		自 治 会 名	本町○丁目	
住 所	恵那市岩村町545 番地 1 電話番号 43- 2111 携帯○○○-○○○○-○○○○				
		氏 名	生 年 月 日	年 齢	健 康 状 態 該当する所を、○で囲んでください
世帯主名	かな	いわむら たろう	昭和17年○月○日	78	健康 寝たきり 車椅子 足 手 腰 目 耳、の不自由な所
	続柄	岩 村 太 郎			
	かな	いわむら はなこ	昭和19年○月○日	76	健康 寝たきり 車椅子 足 手 腰 目 耳、の不自由な所
	妻	岩 村 花 子			
	かな	いわむら まなぶ	大正8年○月○日	101	健康 寝たきり 車椅子 足 手 腰 目 耳、の不自由な所
	父	岩 村 学			
	かな	いわむら うたこ	大正11年○月○日	98	健康 足 手 腰 目 耳、の不自由な所
	母	岩 村 歌 子			

※災害時等に援護の必要の方は、住宅内での寝室の場所を図に書いてください。
※ご意見も書いてください。



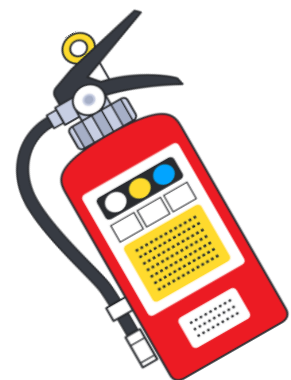
※このカードに記載された個人情報、運営管理の目的のみに利用させていただきます。

「消火器」「火災報知器」の設置状況

設置実績(平成29年～令和元年)

消火器設置 54件

火災報知器設置 15件



町全体と伝建地区の比較

消火器設置 町:66.8% 伝建地区:65.5%

火災報知器設置 町:63.3% 伝建地区:73.0%

伝建地区の訓練の様子



減災シートの記入

アンケート期間

令和2年6月25日～令和2年8月25日

調査世帯(岩村町自治連合会加入世帯)

世帯数 1255世帯

回答数 798世帯

回答率 63.59%

令和2年度 岩村町減災シート

- | | |
|-------------------------------------|--------|
| 1 家族で地震が発生した時の行動や、発生後の行動について話をしている。 | はい・いいえ |
| 2 防災訓練には毎年参加している。 | はい・いいえ |
| 3 避難場所を知っている。 | はい・いいえ |
| 4 家具や冷蔵庫などの転倒防止対策をしている。 | はい・いいえ |
| 5 食器棚など扉が不用意に開かないように対策をしている。 | はい・いいえ |
| 6 寝室に転倒するような家具を置いていない。 | はい・いいえ |
| 7 ガラス窓に飛散防止フィルムを貼っている | はい・いいえ |
| 8 断水時にトイレが使えるよう浴槽に水(残り湯)をためている。 | はい・いいえ |
| 9 家庭用火災報知機を設置している。 | はい・いいえ |
| 10 家に消火器がある。 | はい・いいえ |
| 11 地震、災害の際のために非常用持ち出し品を常備している。 | はい・いいえ |
| 12 非常持ち出し品は、家族構成に合わせて変えている。 | はい・いいえ |
| 13 3日以上の食料を備蓄している。 | はい・いいえ |
| 14 高いところに植木鉢など落下するものを置いていない。 | はい・いいえ |
| 15 プロパンガスや灯油タンクなどの転倒防止対策をしている。 | はい・いいえ |
| 16 住宅の耐震診断を行っている。 | はい・いいえ |
| (昭和56年5月以前に建築した木造住宅のみご記入ください。) | |
| 17 物干し竿などが落下しないように固定している。 | はい・いいえ |
| 18 自宅周辺の危険箇所を確認している。 | はい・いいえ |
| 19 自宅近くの消火栓の場所を知っている。 | はい・いいえ |
| 20 井戸水を持っている。 | はい・いいえ |
| (はいと回答された方)災害時はその井戸水を提供してもよい。 | |

※防災に関してご意見・ご要望があればお書きください。

地区名

令和2年度 減災シートにおけるアンケート結果

	回答数	はい	いいえ	なし	はいの割合	全国	
1.話し合い	798	431	349	18	54.0	57.7	平成30年1月29日、防災に関する世論調査
2.防災訓練参加	798	730	61	8	91.4	40.4	平成30年1月29日、防災に関する世論調査
3.避難場所	798	757	35	7	94.8	75.3	2019年防災への備えに関する意識調査
4.家具転倒防止	794	267	517	9	33.6	40.6	平成30年1月29日、防災に関する世論調査
5.食器棚	794	213	572	8	26.8	20.4	2009防災に関するアンケート調査
6.寝室転倒	797	484	302	11	60.7		
7.ガラス窓飛散防止	795	47	740	8	5.9	5.2	平成30年1月29日、防災に関する世論調査
8.浴槽水張り	798	367	425	7	45.9	23.3	平成30年1月29日、防災に関する世論調査
9.家庭用火災報知器	792	502	282	8	63.3	82.3	令和元年住宅用火災警報器の設置率等の調査結果
10.消火器	796	532	256	9	66.8	41.0	2016年家庭内の消火器の保有実態に関する全国調査
11.非常時持ち出し品	795	341	444	11	42.8	45.7	平成30年1月29日、防災に関する世論調査
12.非常時持ち出し品・家族構成	788	173	601	12	21.9		
13.3日以上の食料備蓄	795	412	372	12	51.8		
14.高いところの落下物	797	689	100	7	86.4		
15.プロパンガス転倒防止	779	545	218	14	69.9		
16.住宅耐震診断	575	107	462	8	18.6	28.3	平成30年1月29日、防災に関する世論調査
17.物干しざお	756	303	437	16	40.0		
18.自宅周辺危険個所	751	504	232	15	67.1		
19.自宅付近消火栓場所	766	719	38	9	93.8		
20.井戸	765	349	404	10	45.6		
井戸提供	334	273	56	4	81.7		

全国平均との比較

全国平均より上	防災訓練参加	全国 : 40.4%	岩村町 : 91.4%
	避難場所の把握	全国 : 75.3%	岩村町 : 94.8%
	浴槽の水張り	全国 : 23.3%	岩村町 : 45.9%
	消火器設置	全国 : 41.0%	岩村町 : 66.8%

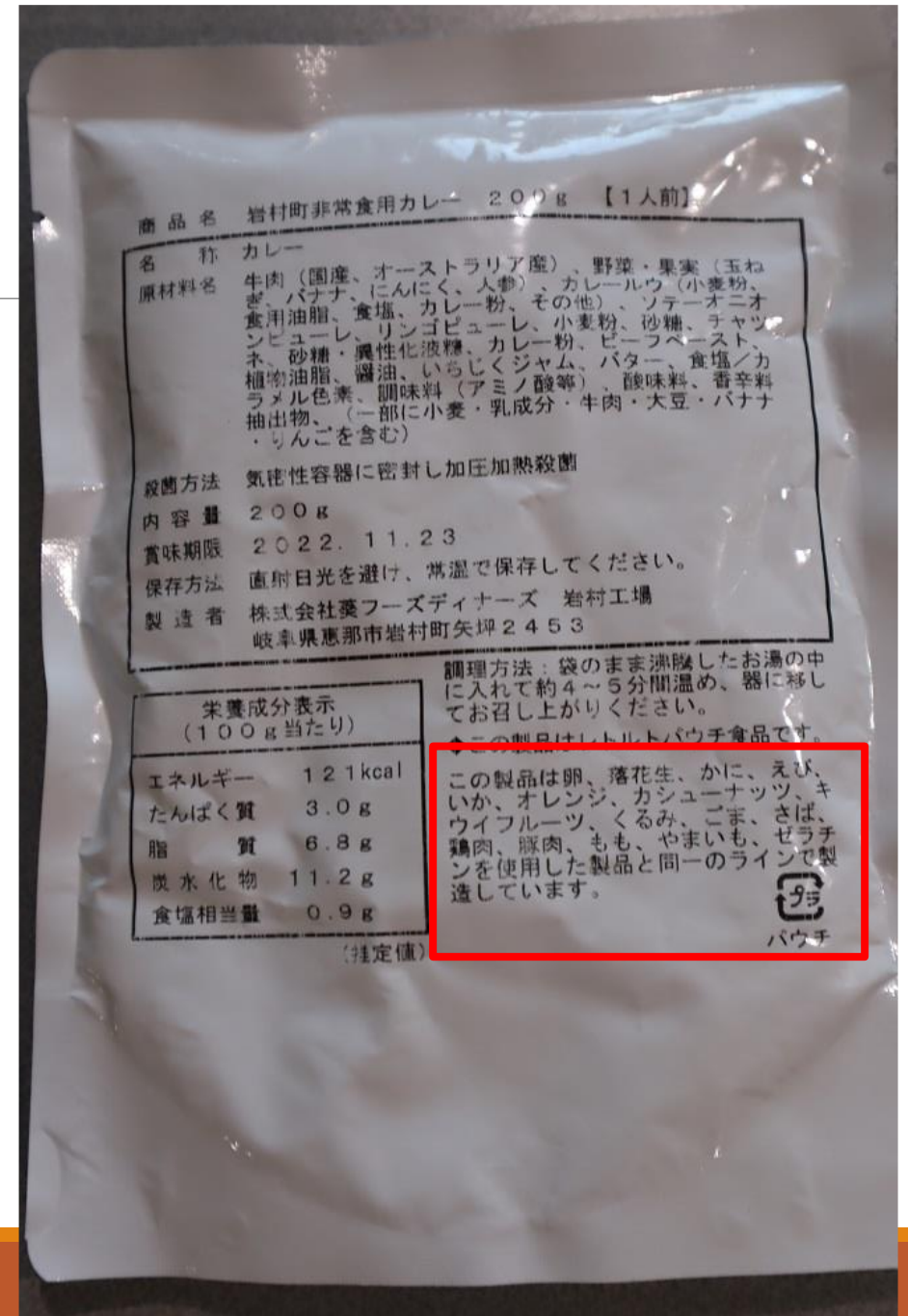
全国平均より下	家具転倒防止対策	全国 : 40.6%	岩村町 : 33.6%
	火災報知器設置	全国 : 82.3%	岩村町 : 63.3%
	耐震診断	全国 : 28.3%	岩村町 : 18.6%

井戸提供

井戸を持っている	45.6%
提供してもよい	81.7%

地元企業との連携

- ・好き嫌いが比較的少ない
- ・子供からお年寄りまで食べられる
- ・簡単に調理できる
- ・小学生に試食していただき味を調整
- ・アレルギー表示も記載
- ・今年度約2200食を購入（保存年限：2年）



岩邑中学校との地域学校協働活動事業

内容

炊き出し訓練：日赤奉仕団岩村分団・自主防災隊（200食）

防災発表会：岩邑中学校 南海トラフ地震を想定した図上訓練報告
日赤岩村分団 防災訓練他ボランティア活動の報告
自主防災隊 主な年間活動報告

体験教室：物干しざおと毛布による簡易担架の作り方体験

協働事業の様子



炊き出し訓練



活動発表会

岩邑中学校 防災の日の取組について



恵那市赤十字奉仕団
岩村分団の活動

自主防災隊とは？

岩村町民の安心安全を守るため、自主的に行うボランティア組織です。

役員	10名
自治会代表	31名
合計	41名



防災教室



物干しざおと毛布を使った
担架づくり

岩村町自主防災隊防災計画活動発表

ご清聴ありがとうございました。